

「推奨技術」「準推奨技術」について

(別紙1)

インセンティブ

- 工事成績評定への加点 (施工者希望型のみ)
- 総合評価方式への加点 (配点は適宜決定)

推奨技術(2件)

公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された、画期的な新技術。

<選考要件>

従来に比べ飛躍的な改善効果を発揮

先駆的な技術、幅広い活用の期待

画期的な技術。将来飛躍的な活用効果の改善の期待

独創的な技術、国際的な先端技術、先進諸国へ技術展開の期待

国内、国際的な諸問題の課題解決に貢献

(選考委員の全員一致による選定)

準推奨技術(17件)

公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された、画期的な新技術(推奨技術には至らないもの)

新技術活用システム検討会議が選定

新技術システム検討会議に推薦

インセンティブ

- 工事成績評定への加点 (施工者希望型のみ)
- 総合評価方式への加点 (配点は適宜決定)
- 設計比較対象技術については、設計業務の比較検討において採用することを設計図書に明記
- 少実績優良技術については活用の拡大を行う

活用促進技術(18件)

特定の性能又は機能が著しく優れている技術、など。

設計比較対象技術(37件)

技術の優位性が高く、安定性が確認されている技術。

少実績優良技術(43件)

技術の優位性は高いが、直轄工事等における実績が少ない技術。

新技術活用評価会議が選定

多
実績件数
少

優位性(総合評価点)

高
低

活用・評価

活用効果評価を実施した技術(約400件)

新技術(NETIS登録技術)(約3700件)